仏南西部で H5N8 鳥インフルエンザ フォアグラに影響

星島日报 std.stheadline.com 2016-12-04 来源：

（星島日報報道）フランス南西部で先週金曜日に新たな鳥インフルエンザが流行、フォアグラ生産者に大打撃を与えている。 フランス南西部のフォアグラ生産で有名なタルン県のある農場で養殖していたアヒル（宮本注：一部報道ではガチョウと書かれているが、この『鴨子』という中文はアヒルのことなので以後はアヒルで統一します。フォアグラの材料はガチョウとアヒルの肝臓から作られますが、「ガチョウよりもアヒルの方が飼育が楽で、病気にも強いことから、今日では鴨のフォアグラの生産量は増加傾向にある」という情報もあり！！）が、先週木曜、高病原性の **H5N8** 鳥インフルエンザウィルスに感染していることが見つかり、タルン地区のアヒル **7000** 羽が殺処分されたが、ほかにも鳥インフルエンザにより **4500** 羽のアヒルが病死している。

農業省の役人は、今回の鳥インフルエンザの感染源は渡り鳥のようだと語った。 当局はその後、「フランス南西部のジェール県やオート＝ピレネー県、ロット＝エ＝ガルンヌ県などでも同様の鳥インフルエンザと確認されたものや疑い例が発生しており、これまでに **7** 千羽のアヒルが殺処分されている。 ジェール県など三つの県のアヒルは、タルン県の農場のサプライヤーにより提供されたものである。 新たなアウトブレイクがなければ、フォアグラ生産業者は **3** ヶ月までば輸出を回復できる」と語った。

http://std.stheadline.com/daily/news-content.php?id=1515009&target=2

:::::::::::::::::::::::::::::: 以下は中国語原文 ::::::::::::::::::::::::::::::::

法國爆禽流感 鵝肝醬受影響

星島日报 std.stheadline.com 2016-12-04 来源：

（星島日報報道）法國西南部上周五爆發新一輪禽流感，對鵝肝醬生產商構成打擊。法國西南部是著名鵝肝醬產區，塔恩區（Tarn）一個農場養殖的鴨子，上周四被發現感染高度致病的 H5N8 禽流感病毒後，導致塔恩區約七千隻鴨被宰殺，另有四千五百隻鴨死於禽流感。

農業部官員稱，這次禽流感爆發源頭可能是候鳥。當局其後宣布，同樣位於法國西南部的熱爾區、上比利牛斯區及洛特－加龍區出現多宗確認或懷疑禽流感個案，導致再有七千隻鴨被宰殺。熱爾等三區的鴨子由塔恩區農場的供應商供應。只要沒有爆發新的禽流感個案，鵝肝醬生產商就可在三個月後恢復出口。